

に や こ に や い せ き 新谷古新谷遺跡 2次

— 古代氏族「凡直」刻書土器と皇朝十二銭「長年大宝」が県内初出土 —

現地説明会資料

- 事業名 一般国道196号今治道路関連埋蔵文化財調査
- 委託者 愛媛県(事業主体：国土交通省四国地方整備局)
- 調査主体 公益財団法人 愛媛県埋蔵文化財センター
- 調査場所 今治市新谷
- 調査期間 平成31年4月8日～令和2年3月31日(今年度予定)
- 調査面積 新谷古新谷遺跡：6,740㎡(予定)

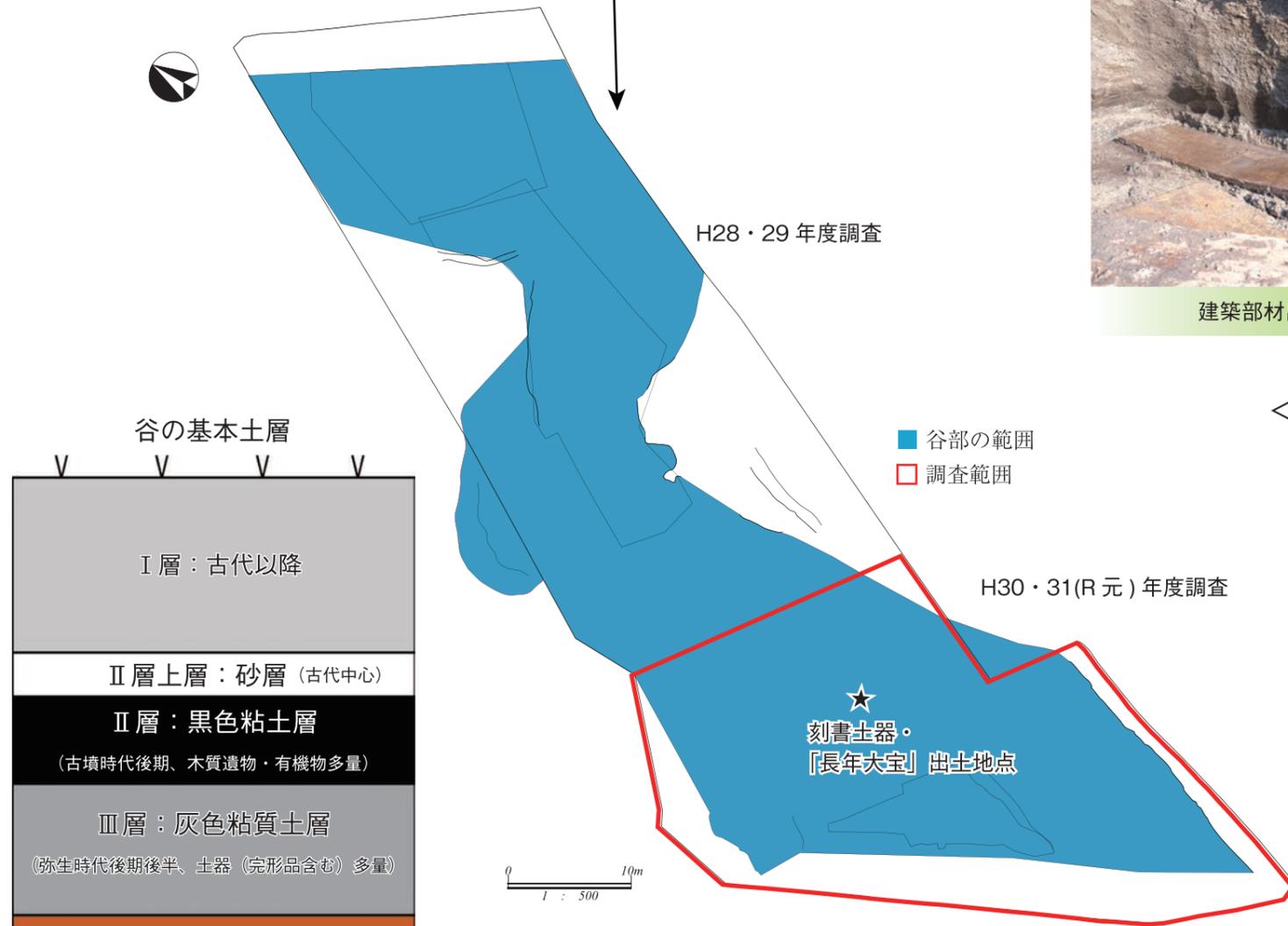
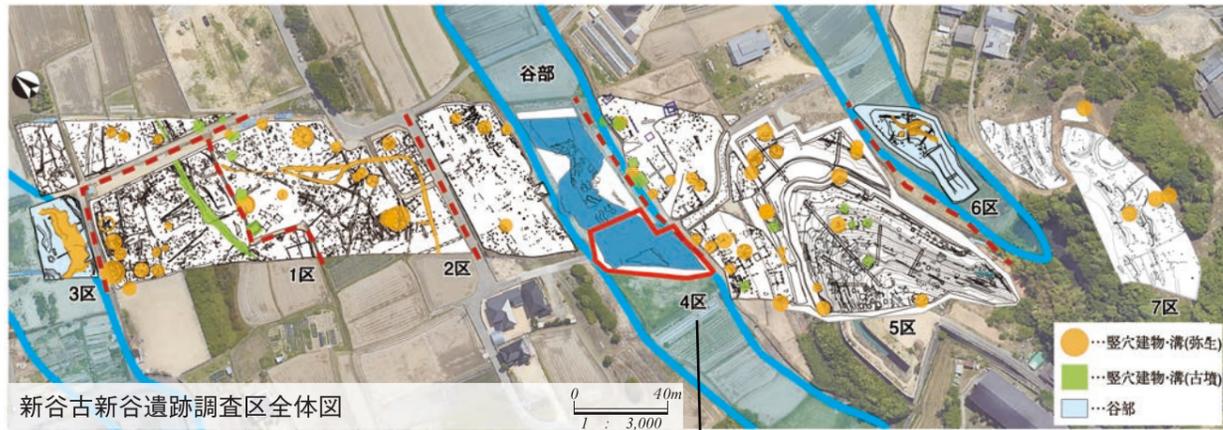


周辺地図



- 1 「凡直□」刻書部分
- 2 「凡直□」刻書土器
- 3 「長年大宝」出土状況
- 4 木製品出土状況
- 5 弥生後期土器出土状況





古墳時代後期

木質遺物出土状況 (II層)

木質遺物集中地点 (II層)



建築部材出土状況 (II層)



木製扉出土状況 (II層)



建築部材出土状況 (II層)

<4区谷部の調査>

4年間にわたる谷部の調査において、平成30・31年度には上流部(南側)の流れが屈曲する地点を調査しました。過去の調査同様に、II層上層(砂層)では、古代を中心とする遺物が、II層で古墳時代後期の土器や多くの木質遺物が、III層で弥生時代後期の木質遺物や多くの土器が出土しています。

II層の木製品は柱材や板材のほか屋根材や垂木などの建築部材が中心で、長さを微調整する際に切り落としたとみられる材などから、調査区周辺で製材が行われていた可能性があります。また、調査区南端では柱材などを杭で固定し、橋状に渡しているような木製品の集中地点が見られました。

III層出土の弥生土器は、谷の東側を中心に折り重なるように出土しており、主に東側(5区)から遺物の廃棄が行われたものと考えられます。木製品については板材のほか、匙状木製品や平鋏が出土しています。また、IV層からは弥生時代後期のものと見られる赤色に塗られた小型木製品も出土しています。

弥生時代後期

弥生土器出土状況 (III層)

弥生後期土器の集中地点 (III層)

匙状木製品出土状況 (III層)

赤色に塗られた木製品 (IV層)



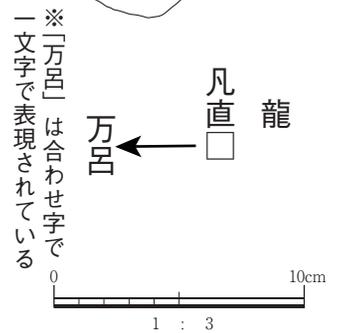
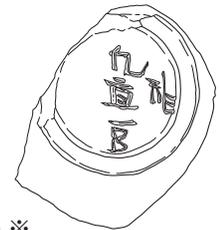
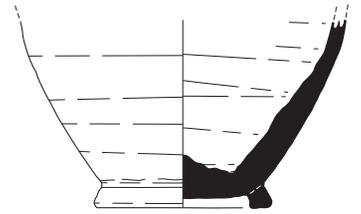
おもしろい ことしょ
「凡直□」刻書土器が出土！

刻書土器は、4区谷部II層の砂層において出土しました。文字は須恵器の底部に刻まれ、上部が欠けていますが小型の長頸壺と推定されます。時期は須恵器の形状等から8世紀後半頃と考えられ、文字は製作途中で焼かれる前に刻まれています。中央の文字は人物名を示しており、最初の2文字は「凡直」、下の文字は「万呂」と読むと考えられます。また、右の一文字は「龍」と推定され、名前の一部や、特殊な意味を持つ文字の可能性がります。

凡直氏は越智氏と同じく伊予の古代氏族であり、文献史料からは宇摩郡、桑村郡、宇和郡に存在していることが指摘されていましたが、越智郡では確認されていません。古代氏族の名前が刻まれた土器は県内で初出土であり、貴重な事例となります。

須恵器の生産地については現在のところ特定できませんが、周辺で出土している同時期の今治産と考えられる須恵器と比べると、焼きや粘土に明確な違いが観察できます。燻し焼きで仕上げ、使用されている粘土も良質なものであることから今治地域以外から搬入された可能性があり、県外より持ち込まれたことなども考えられます。

今回、凡直氏の活動痕跡が国府の所在した越智郡において捉えられたことは注目され、今後伊予の古代史を考えていく上でも大きな発見といえるでしょう。



刻書土器実測図

※「万呂」は合わせ字で一文字で表現されている

こうちょう ちょうねんたいほう
県内初！皇朝十二銭「長年大宝」

4区谷部II層の砂層からは古代の遺物とともに皇朝十二銭の「長年大宝」が1枚出土しました。

皇朝十二銭とは708（和銅元）年から963（応和3）年にかけて国内で鑄造された12種類の銅銭の総称で、そのうち「長年大宝」は7番目にあたり、平安時代の848（嘉祥元）年に鑄造されました。

県内ではこれまでに10遺跡で191点の皇朝十二銭が出土しています。そのうち「和銅開珎」（708年初鑄）が127点と最も多く「萬年通宝」（760年初鑄）1点、「神功開宝」（765年初鑄）1点、「富壽神宝」（818年初鑄）3点、「承和昌宝」（835年初鑄）50点、「貞観永宝」（870年初鑄）7点、「乾元大宝」（958年初鑄）1点が確認されていますが「長年大宝」は初の出土となります。

皇朝十二銭は県内出土総数の6割以上が伊予国府の置かれた越智郡内に集中し、特に国分寺や南海道沿いで多く確認されています。

【越智郡内出土の皇朝十二銭】

朝倉高大寺（火葬墓）「和銅開珎」14点・「萬年通宝」1点、
 今治国分「和銅開珎」100点、今治市桜井且「富壽神宝」1点、
 今治市国分向遺跡「乾元大宝」1点



0 2cm
 1 : 1
 長年大宝

新谷古新谷遺跡関連年表

